# 第5次原村総合計画後期計画

8/4 第5回ワークショップ結果 『村づくりについて』

# 『村づくりについて』 グループA

凡例 強み

弱み

取り組み

### 広域連携

### 住民(区)

原山地区のま とまり

区がしっかりと している 意見の集約と か決め事

ボランティア協

議会をうまく

使っていけれ

子育て世代の

支えあいのシ

「ファミリーサ

ポート」がない

各区ごとの「でばらい」 や「ゆい」のシステムが ある

⇒地域内への広がり があればもっとよい

最近は核家族化が進み、 子育てに悩む母親が多い。 ステム(仕組) お年寄りの知恵を子育て に活かせる交流の場を作 る(おいでなして原宿のよ うなもの)

公民協働

自然環境と住 環境整備に多

くの方の協力 を得られるよう に区への加入 をすすめる

人材バンク制 度を作り、住民 の力を活用し た助け合いを 進める

住民等が公共 施設を活用し 活動(取組)さ れている

戦略的な事業 が分からない

村づくりに参加 する人が限ら れている

> 多くの方が 思っているが 発言しない声 をさぐる

10年先どうあっ てほしいかを 見据えた事業

一部の人の意 見が強く、多く の人の意見が 反映されてい ない

戦略!

SNS、インター ネットを活用し た住民の意識 調査の仕組を 作り、リアルタ イムで広く住民

の意見を聞く

諏訪広域の連 携に加えて、 定住自立圏で の連携も行わ れている

福祉や医療の 専門職が財政 的に雇えない が、広域連携 もできない

広域行政とし て広域連合、 定住自立圏が あり、重点項目 について連携 がとれている

庁 内

防災避難マ ニュアルの作

防災勉強会

庁内会議の内 容が課長から 知らされない

情報共有を徹 底するよう庁 内会議でも 言ってほしい

防災について の知識乏しい。 いざという時、 職員としてどう 動けばいいの

かわからない

意見や考えを 気軽に言える 環境

施設

電子化が進め られていく

庁内会議の内 容、総務課で 全職員に 課長によってと らえ方が違うた

庁内会議担当 課が全職員へ 周知する

### 情報発信

有

有線放送

有線放送は聞 かないという声 が多い

有線放送原稿 のテキストが HP上で放送期 間に読めるシ ステム

有線放送設備が無い 地域については、ホープテムを充実す ムページを活用した情 報発信、自治会長か ら住民への周知をして

いただく

有線放送シス

• 防災 •生活

•行政

企業版ふるさと納税 などを活かし、民間 の力を信じて事業や中で、緊急度 施設の運営(PFI)な どを進める

施設の老朽化

による修繕費

の増加

教育施設の充 地域の方々と の交流が少な 中プール い(子供、シニ

ア世代) 居場所の確保

公共施設も老 朽化している 重要度を調査 して改善してい 管理

広域による施 設利用と維持 長寿命化計画

# 『村づくりについて』 グループB

・凡例 強み 弱み 取り組み

コミュニティ

### 情報

年代によって 情報発信の ツールを使い 分ける

有線放送がどれだけ聞いているのか

岳ろくと湖周では産業構造が 異なるため広域的に取組む ことが困難

自 治

地区でやれる ことはしようと する 地域により協 力ができない 雪かき等

集落内の高齢 化による若者 への負担増 出払いとか

移住者が良く もわるくも元気

景観が良い

顔が見える

住民との距離が近い

住民同士の顔 が見える関係 性 1人ひとりが何 ができるか 子育て世代は とけ込みやす い PTAとか

住民主体の活動が長く継続していかない (育たない?)

定住者と住民

の交流があま

りない

新しい住民が 地域活動に参加しづらい

> エコーラインの 上と下で住民 の意見が異な

る

地区に加入しない人が増えてきた

地区の取りま とめ等が出来 る人材育成

リーダーの育 成

村政への関心

に温度差があ

参画する住民

が固定化して

いる

地域で生活で きるようにして いく

高齢者の1人

での生活

子供を中心と した公民協働 活動 世代を超えた 集まるツール がない(交流が 少ない) 移住者の方と の交流の場が よくわからない

新しい活動は 元の住民の参 加が少ない

移住者等に対し「原村を知 ろう!」的なイベント開催 ※分野に詳しい方を講師 に迎える

防災

災害が少ない

災害支援体制 の強化 災害ゴミの対 応など 消防

消防広域になりサービスが ー定

消防団員の減少 準団員をつくる

# 『村づくりについて』 グループC

一凡例 弱み 取り組み

災害が少ない 自然環境が良

村民の顔が見 える

有線放送によ 各戸の有線放 る情報発信 送がある 分かりやすい 有線放送 毎日有線放送 (自宅内で聞け で広報してい る) 有線放送 緊急メールの 文字放送終了 放送内容の伝 活用 達方法 電話⇒スマホ 情報発信 HPの内容 HPの見直し (HPが見づら 情報が少ない い) ほしい情報に たどりつけない

災害発生時の 行動

役場ロビーが やや暗い にあるマンガがあるが、それを活用できない 原村を紹介する物を置く

他の課の仕事 行政事務の効 行政効率化に 率化がわから を知らない ついて考える ない 必要な事業を 庁内他課との フレックス出勤 推進して行う 横のつながり の推進 がないように感 じる テレワークに 取り組む

茅野・富士見・ 北杜とは連携 が取りやすい

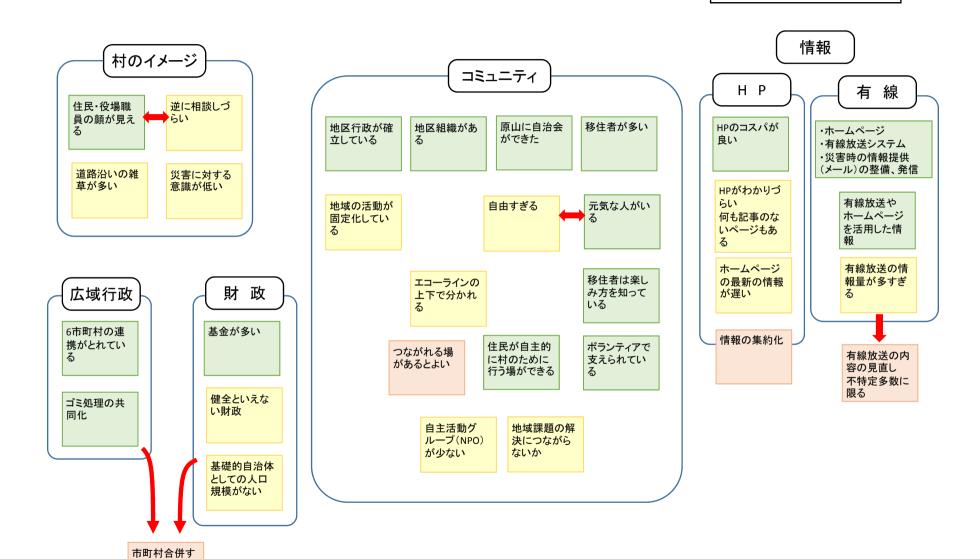
優先

行政に参画し 住民参加というが、決まった 少ない気がする 人しか参加しない

公民協働 限られた人の み

優先

# 『村づくりについて』 グループD



·凡例-強み

弱み

取り組み